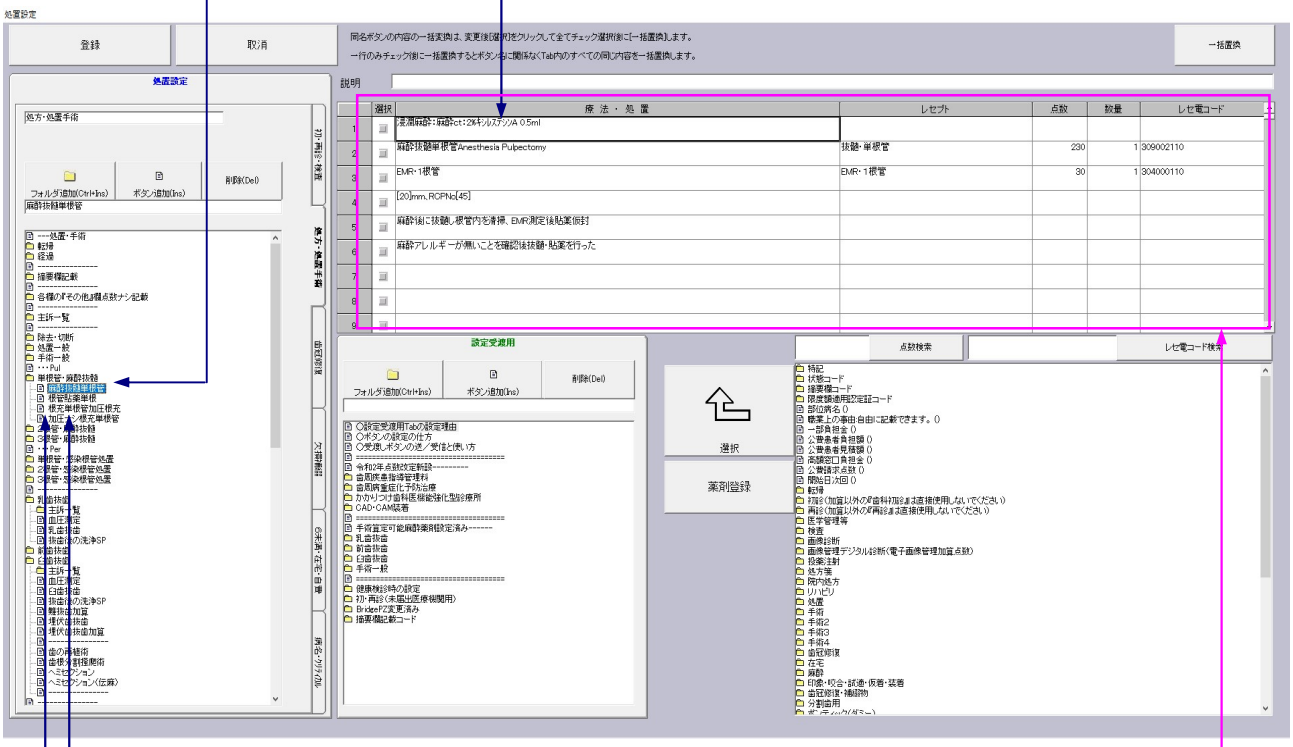
処置設定（ボタンの作り方）の方法　基礎編１

（※「処置設定」はカルテ画面右上部か各種設定/頻度表から入れます。）

カルテ画面で選択する処置内容のセットを変更する方法です。

例：「麻酔抜髄単根管」の麻酔をキシレステシンからキシロカインに変更します。



まずは、変更したいボタン（セット）を処置設定画面で選択してください。（例：麻酔抜髄単根管）

・選択するとボタン内容が表示されます。

表示されたボタン内容を変更していきますが、

直接変えてしまうと失敗した時など戻ることができませんので、サンプルボタン複製を作って変更します。

サンプルボタンの複製の作り方

変更したいボタンを選択（マウス左クリック１回）して青く反転している状態からの説明です。

（例：麻酔抜髄単根管）

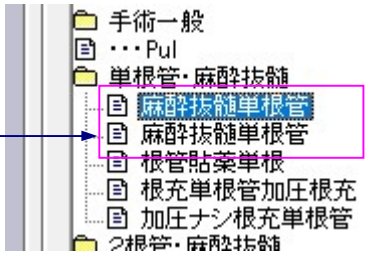
右クリックで「コピー」続いて右クリックで「貼り付け」これにより同じ内容のボタン（セット）が出来上がります

または

キーボードの「Ctrl」キーを押しながらキーボードの「C」を１回押してください。（コピー）

キーボードの「Ctrl」キーを押しながらキーボードの「V」を１回押してください。（貼り付け）

例：麻酔抜髄単根管が２つになりました。



複製したボタンのどちらかを選択し内容を変更していきます。
今回はキシレステシンをキシロカインに変更するので、変更点は 1 行目の「療法・処置」の部分です。

	選択	療 法 ・ 処 置	レセプト	点数	数量	レセ電コード
1		浸潤麻酔：麻酔ct：2%ｷｼﾚｽﾃｼﾝA 0.5ml				
2		麻酔抜髄単根管Anesthesia Pulpectomy	抜髄・単根管	230	1	309002110
3		EMR・1根管	EMR・1根管	30	1	304000110
4		[20]mm,RCPNo[45]				
5		麻酔後に抜髄し根管内を清掃、EMR測定後貼薬仮封				
6		麻酔アレルギーが無いことを確認後抜髄・貼薬を行った				
7						

「浸潤麻酔：麻酔 ct：2%ｷｼﾚｽﾃｼﾝ A 0.5ml」の部分をダブルクリックすると文章が青く反転します。

	療 法 ・ 処 置
1	浸潤麻酔：麻酔ct：2%ｷｼﾚｽﾃｼﾝA 0.5ml

この状態での入力は全文が変更されてしまうので、キシレステシンの最後でシングルクリックしてください。

	療 法 ・ 処 置
1	浸潤麻酔：麻酔ct：2%ｷｼﾚｽﾃｼﾝA 0.5ml

縦の棒が点滅しますので、キーボード「Backspace」でキシレステシンの部分を消してください。

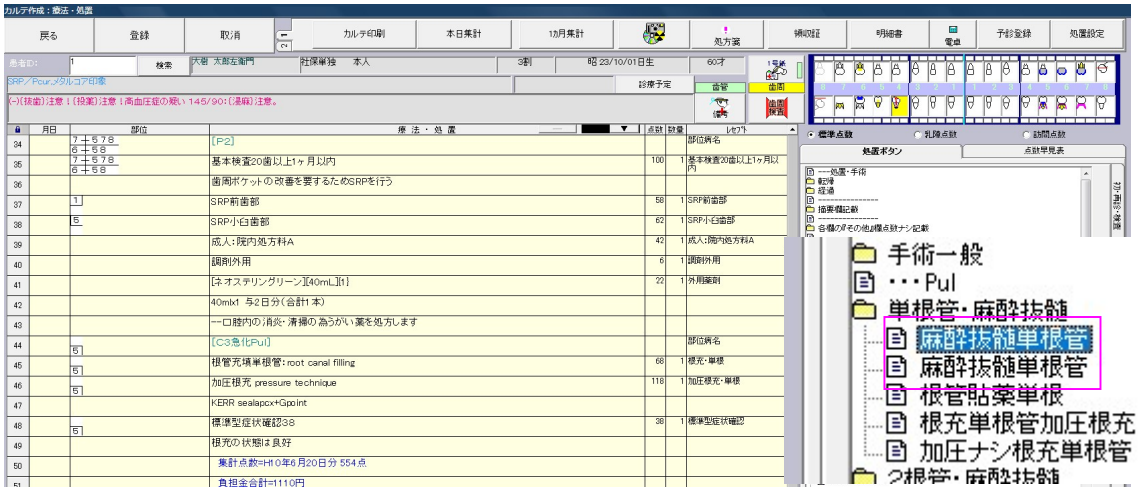
	療 法 ・ 処 置
1	浸潤麻酔：麻酔ct：2% 0.5ml

キーボードでキシロカインと入力してください。

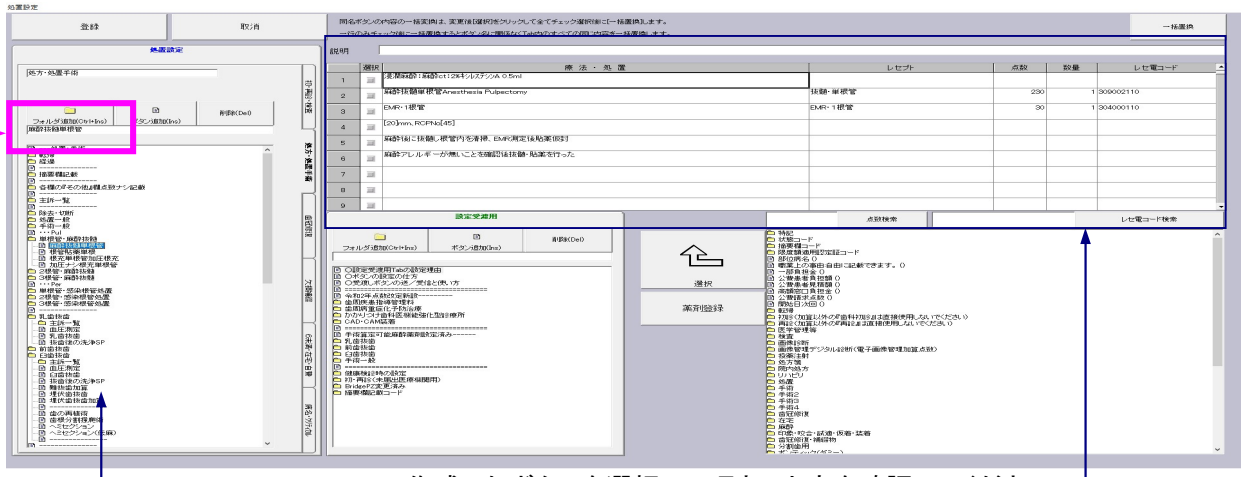
	療 法 ・ 処 置
1	浸潤麻酔：麻酔ct：2%ｷｼﾛｶｲﾝ 0.5ml

以上で変更は終了です。

変更は終わりましたがボタンを複製して作っているため、ボタン名が同じですとカルテ画面で選択する際
どちらがキシロカインの物かわからなくなってしまいます。

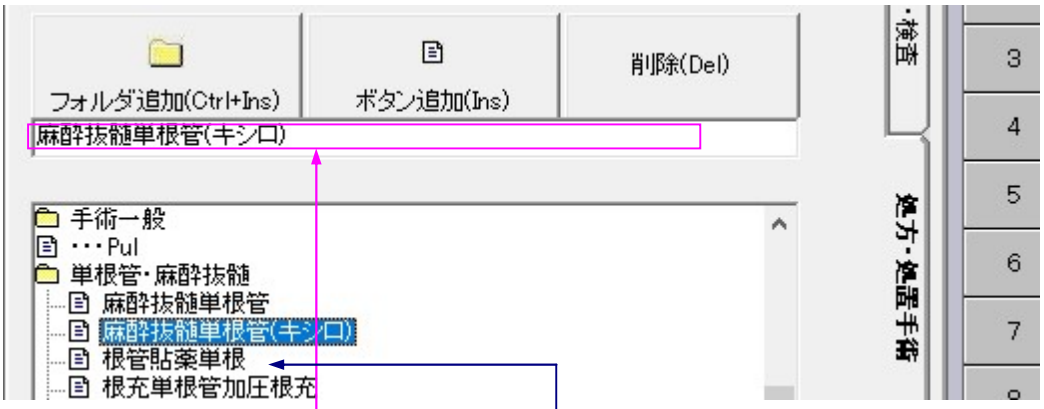


カルテ画面でボタンをクリックすれば下部に内容は表示されますが、一目でわかるようにする為
ボタン名を変更したいと思います。



作成したボタンを選択して頂き、内容を確認してください。

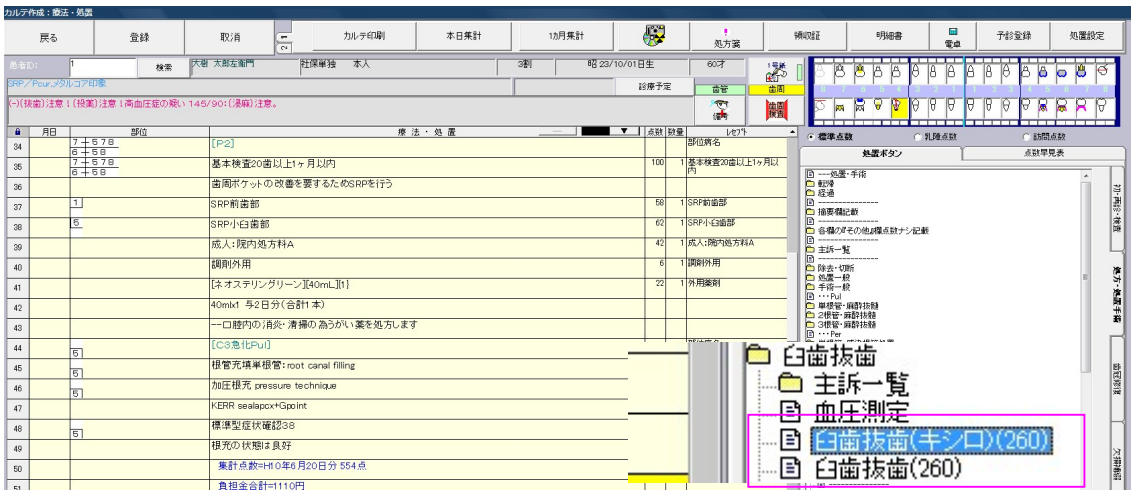
ボタンを選択するとボタン名が表示されます。(例：麻酔抜髄単根管)



ここでボタン名を変更してください。（入力すると即反映します。）

例：「麻酔抜髄単根管」を「麻酔抜髄単根管（キシロ）」

ボタン名を変更しておけばカルテ画面で選択する際に一目でわかります。

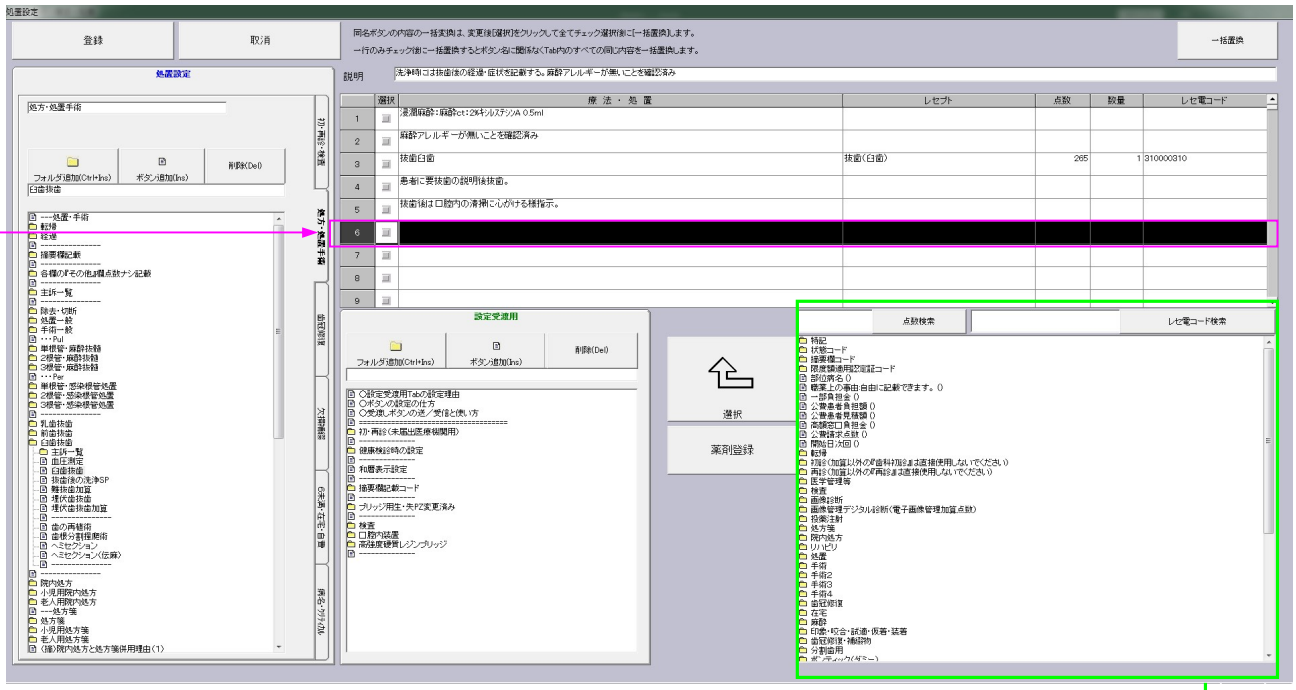


処置設定(ボタンの作り方)の方法　基礎編2

基礎編1で紹介した変更はキシレステシンをキシロカインに変更する方法でしたが、
点数がかかわる物をボタン内容に追加したい場合などは方法が異なります。
ここでは点数を有する物をボタン内容に追加する場合の説明をします。
例:「臼歯抜歯」ボタンの内容に症状確認の画像診断料の算定を追加します。



基礎編1と同様にサンプルボタンの複製を作り、内容を変更していきます。



ボタンの内容構成は行単位になっています。
「臼歯抜歯」は 1 行目の麻酔を含め5行目の指示内容のコメントです。
　ここまでは流用したとして、6行目に標準型(処置後・手術後評価目的撮影)を追加したいと思います。
追加したい行をクリックしてください。行の番号 6 を左クリックすると行全体が選択されます。

つぎに、画像診断症状確認のレセプト ID や点数を有した物を選択し追加します。
点数を有した物はこの部分に入っています。
※「点数検索」で検索することもできます。



「画像診断」の標準型(処置後・手術後評価目的撮影)(48)を
左クリックすると青く反転します。
この状態で選択ボタン 選択 をクリックするか、
標準型(処置後・手術後評価目的撮影)(48)を
ダブルクリックであらかじめ選択した
5 行目に追加されます。

追加された様子です。

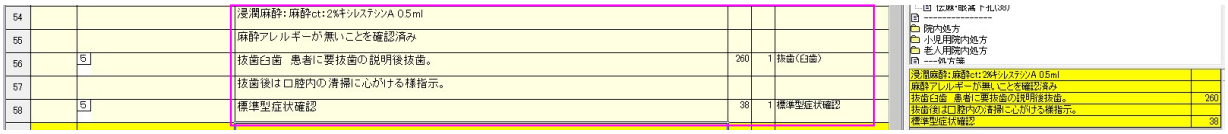
	選択	療法・処置	レセプト	点数	数量	レセ電コード	レセプトID	下線
1		[OA(1～2歯)]+[歯科用キシロカインカートリッジ 1．8mL][1管][][歯]	麻酔_歯科麻酔薬剤	11	1		000061	0
2		麻酔アレルギーが無いことを確認済み						0
3		抜歯臼歯	抜歯(臼歯)	270	1	310000310	J00030	0
4		患者に要抜歯の説明後抜歯。						0
5		抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。						0
6		標準型(処置後・手術後評価目的撮影)	標準型(処置後・手術後評価目的撮影)	48	1	305000210+305000910+700180000	E00600	

※行を削除する場合は行を選択して(例:5 行目を削除したければ5を左クリック)キーボードの「Delete」

※行を間に挿入したい場合は行を選択して「Shift」押しながら「insert」

追加された内容でよろしければ、基礎編1と同様にボタン名を変更してオリジナルのボタンとして、

カルテ画面で選択すれば、自動的に抜歯と症状確認のセットが算定できるようになります。



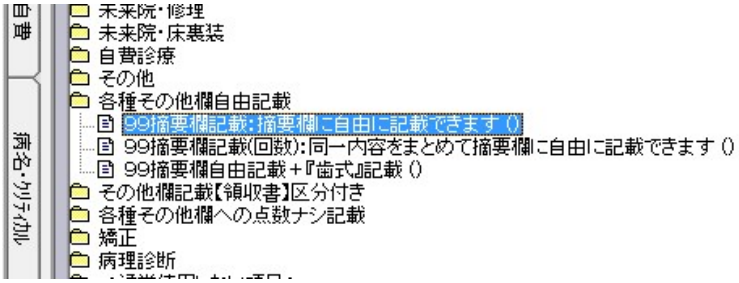
基礎編 2 のように点数がかかわるボタンの変更は、摘要欄記載などレセプトにかかわるボタン変更でも

同様に操作します。

例えば、

「標準型(処置後・手術後評価目的撮影)(48)」を選択する部分で

「99摘要欄記載:摘要欄に自由に記載できます」を選択すれば、



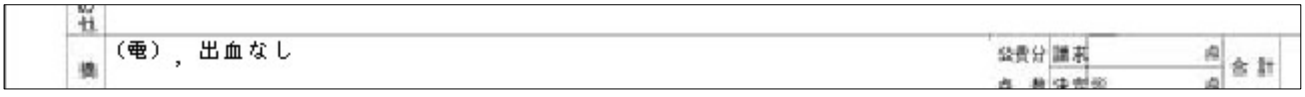
任意のコメントを自動的に適応欄に記載させるセットが作れます。

例:レセプト適応欄に「出血なし」とコメントを自動記入したい。

5 行目に追加後、療法・処置を「出血なし」としておけば、カルテでセットを選択した場合自動的に

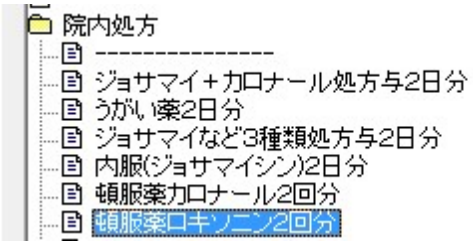
適応欄に「出血なし」のコメントが入ります。

	療法・処置	レセプト	点数	数量
1	浸潤麻酔:麻酔ct:2%キシレステシンA 0.5ml			
2	麻酔アレルギーが無いことを確認済み			
3	抜歯臼歯 患者に要抜歯の説明後抜歯。	抜歯(臼歯)	260	1
4	抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。			
5	出血なし	99摘要欄記載:摘要欄に自由に記載できます		1
6				
7				

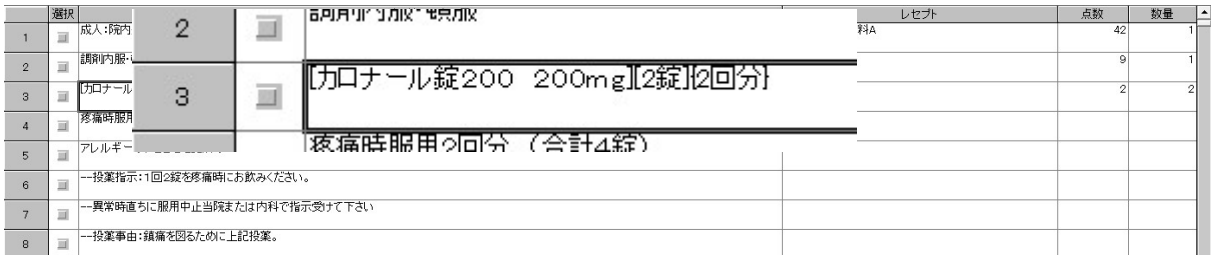


処置設定(ボタンの作り方)の方法　院内処方編

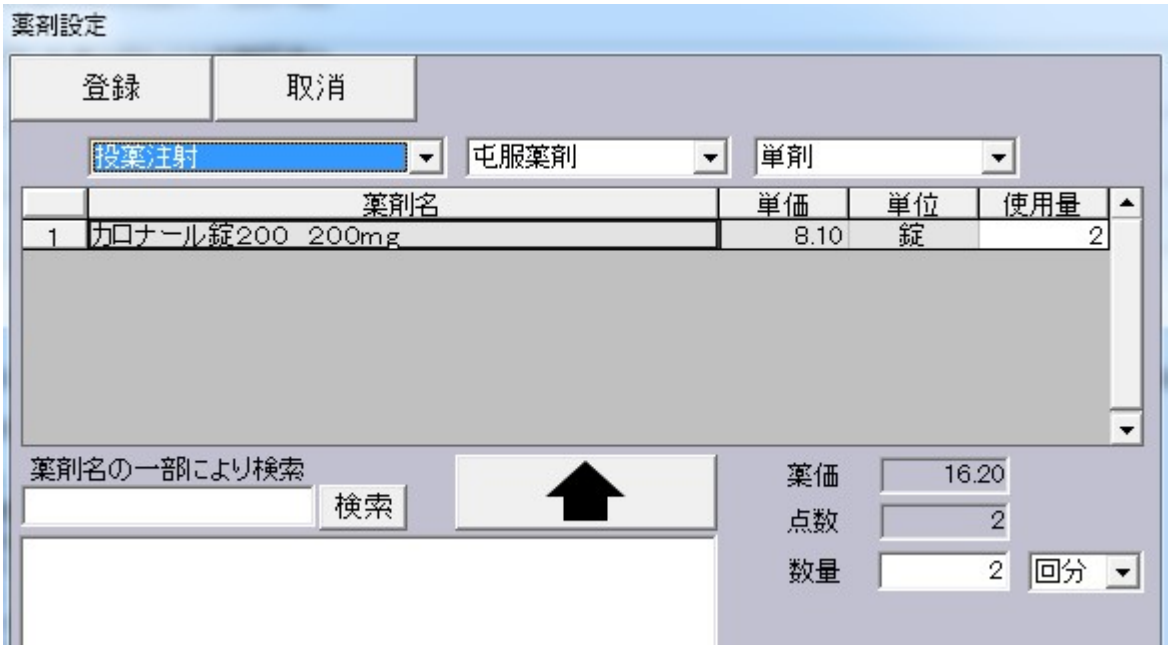
ここでは薬剤登録の説明をします。まず普段使っている処方薬や麻酔剤をご確認ください。
１からボタンを作るより基礎編１でご説明した様に、サンプルボタンを複製し変更する方が、
ミスも起こりづらく楽に作ることが出来ます。(「Ctrl」+「C」「Ctrl」+「V」で複製、ボタン名変更)
（例：頓服薬カロナール２回分を基に頓服薬ロキソニン２回分を作成）



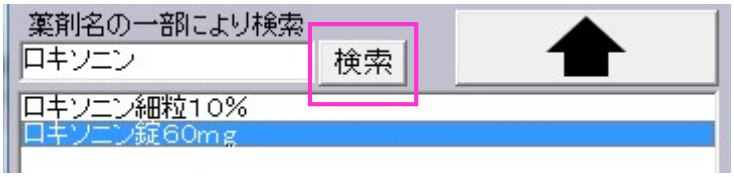
次にボタン内容の変更をします。
１行目処方料や２行目調剤料の行は流用します。変更したい薬剤をダブルクリックしてください。
（点数を有する麻酔剤などの場合も同様です。）



薬剤設定画面が表示されます。



薬剤名の一部により検索で任意の薬剤を検索します。（例：ロキソニン）
薬剤名を入力し「検索」をクリックします。



薬剤の正式名称が表示されます。該当薬剤をダブルクリックかクリック選択後  で、
「カロナール錠 200　200mg」と差し換わります。

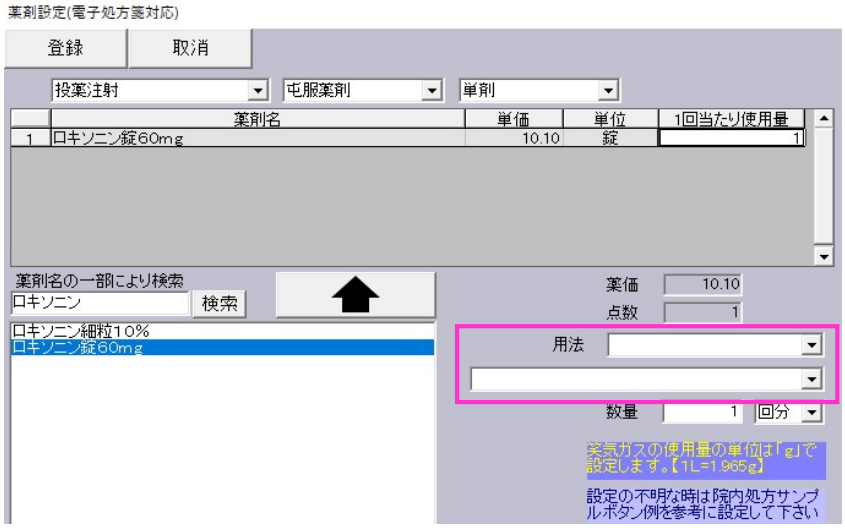


（例：**使用量１**を設定）
数量の〇回分も任意で設定してください。（例として頓服薬ロキソニン２回分を作成した為、**２回分**）
設定が終わったら「登録」で完了です。

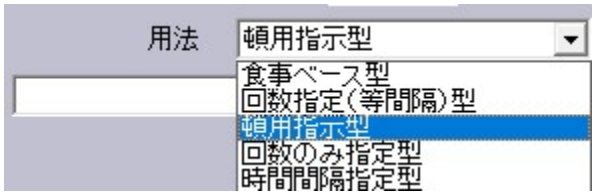


使用量を半角英数で入力し「Enter」で確定すると薬価を基に点数を自動計算します。
※　薬剤以外の部分は処方に沿って直接入力で変更してください。
　　例：疼痛時服用２回分（合計４錠）→疼痛時服用２回分（合計２錠）など

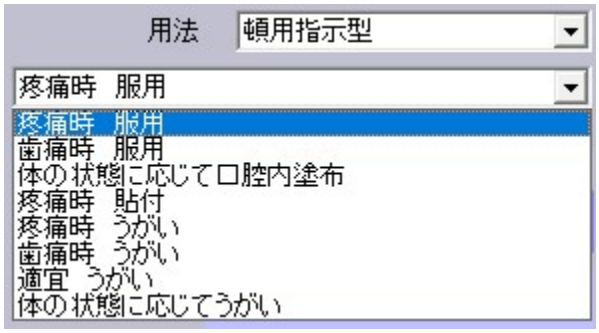
電子処方箋などを考慮して用法の設定ができます。



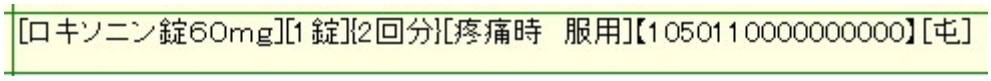
まずは何型かを選択します。例：屯用指示型を選択



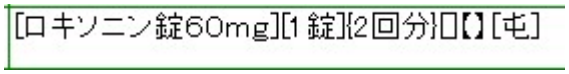
続いて型に準じた用法例が表示されるので選択してください。　例：疼痛時　服用を選択。



算定時カルテ画面はこのように表示されます。



用法を設定しなかった場合はこのように表示されます。



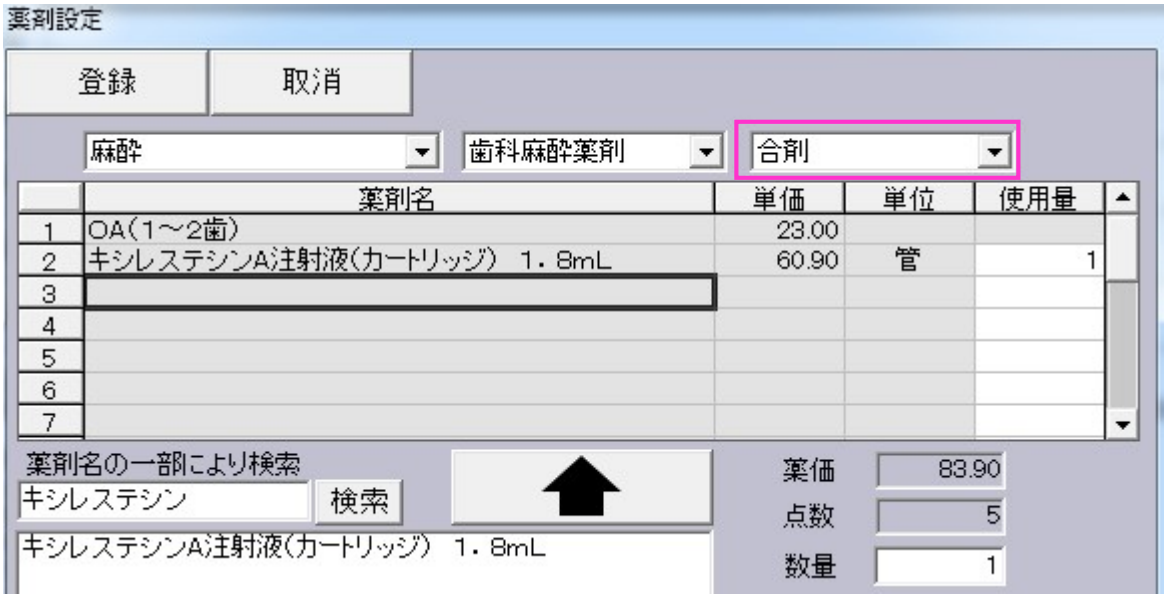
[]や【】はカルテ画面と紙のレセプトプレビューに表示されますが、
レセプトデータへの影響はありませんのでご安心ください。

合剤の投薬例。

（**合剤**を選択すると**複数の薬剤**を登録でき、各薬剤を登録すると自動的に合剤点数を算出登録します）『ジョサマイシンとレフトーゼを**合剤』として２日分処方**例です。



伝麻などのＯＡ+麻酔も**合剤**として設定すれば、合剤点数として算定できます。



１、薬剤設定画面でＯＡ(1～2 歯)を検索して 1 行目に。

２、任意の麻酔剤を検索して 2 行目に。（例：キシレステシン）

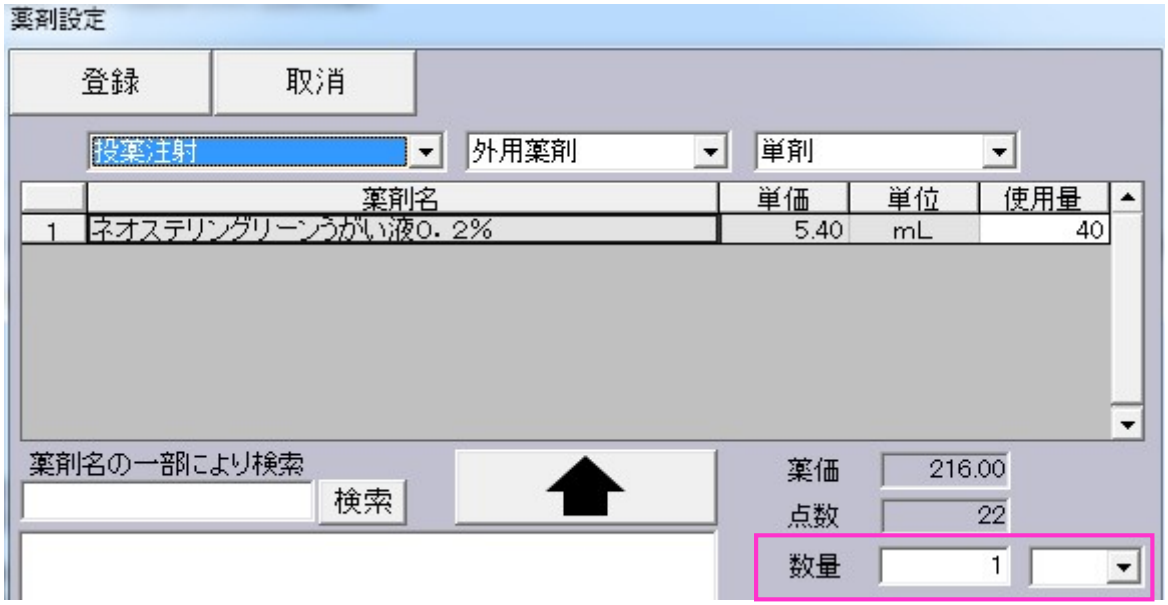
３、麻酔剤の使用量は１管として、使用量の欄に半角英数で 1 を入力後「Enter」。

４、薬価を基に点数が自動計算されてきます。

５、数量は１を指定。

うがい薬の処方は注意が必要です。

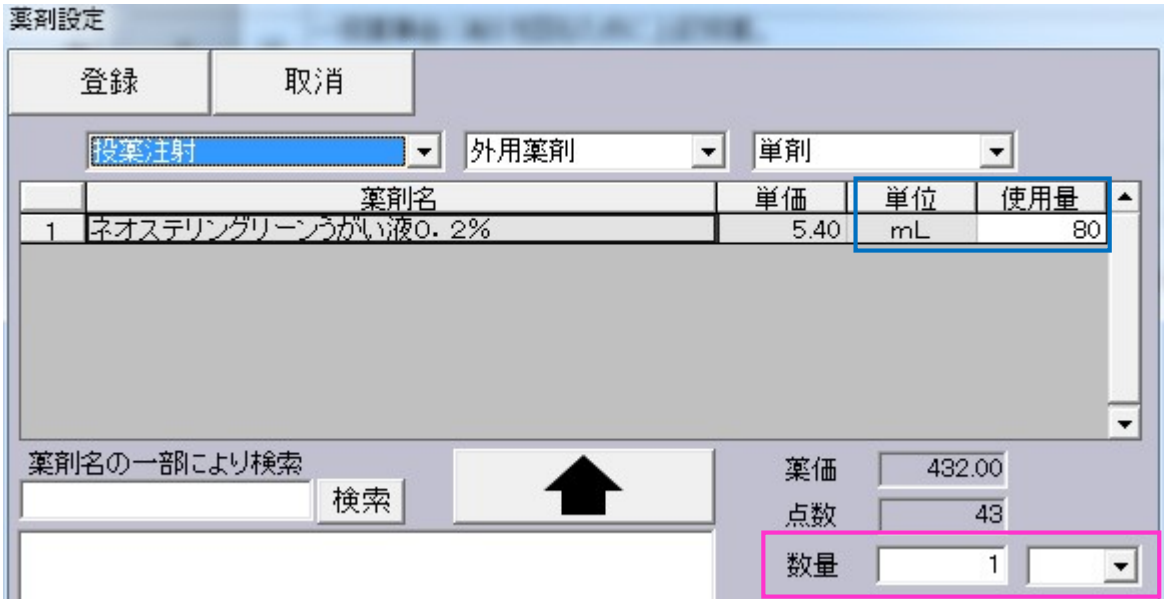
ネオステリンを１本分４０ml 処方した例です。注！数量は１のみを入力します。



ネオステリン２本分を処方する場合も数量のみの入力です。

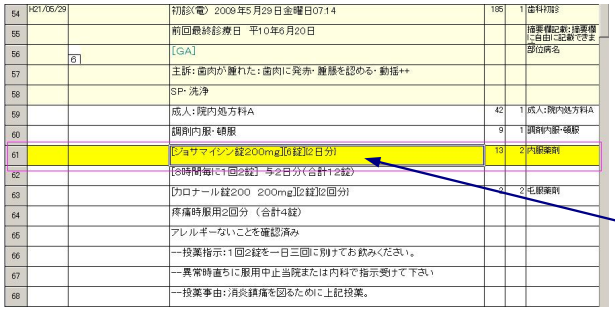
４０ml が２本で８０ml なので、使用量の部分が 80 です。

注！数量は１のみを入力します。



カルテ上で投薬日数や投薬量の変更

通常は「処置設定」でいつもの処方パターンをボタンで作っておきますが、
状況に応じて「今回だけ」など直接変更したい場合の説明です。



例： カルテ記載後に患者さんから 2 日分を
4 日分にして欲しいと言われたら。

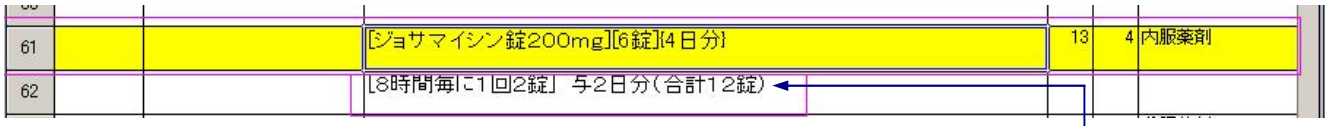
１、カルテの処方した薬剤行を
ダブルクリックすると、

２、薬剤設定画面が表示されます。



３、２日分を４日分にするので、
２を４に変えて『登録』します。

４、行を上書きするかメッセージが出ますので画面の説明に従って上書きなら上書きを押します。



ジョサマシン 2 日分 13 点 x 2 から 4 日分 13 点 x 4 に変更されました。

カルテ内容の与２日分（合計１２錠）は直接入力で与４日分（合計２４錠）に変更してください。
薬剤の*投薬量の変更などの時は自動的に薬価を計算*して表示します。

※『特定保健医療材料』
医薬品ではなく特定保健医療材料としてサージセルなど止血剤を使用する場合
デンプン由来吸収性局所止血材・標準型(1270)を点数早見表検索算定してください。
歯科用の 5.1×2.5 となると 0.45g ですので、カルテ画面の療法処置欄で
『デンプン由来吸収性局所止血材・標準型』を
『デンプン由来吸収性局所止血材・標準型[0.45]』と入力し
点数を 572 に変更してください。

処置設定(ボタンの作り方)の方法　応用編

基礎編で説明した**サンプルボタンの複製の作り方**ですが、

この操作に出てくる「Ctrl」+「C」コピー　「Ctrl」+「V」貼り付け　は様々な部分で活用できます。

ここでは、これらの操作を利用して効率よくオリジナルボタンを変更する方法を説明します。

例:「臼歯抜歯」ボタンの麻酔を「難抜歯」ボタンの麻酔も同じように変更します。

	選択	療法・処置
1		[OA(1～2歯)]+[オーラ注歯科用カートリッジ1．8mL][1管]
2		麻酔アレルギーが無いことを確認済み
3		抜歯臼歯
4		患者に要抜歯の説明後抜歯。

複製したい内容の行番号を左クリックします。

左クリックすると黒く反転します。

	選択	療法・処置
1		[OA(1～2歯)]+[オーラ注歯科用カートリッジ1．8mL][1管]
2		麻酔アレルギーが無いことを確認済み
3		抜歯臼歯
4		患者に要抜歯の説明後抜歯。

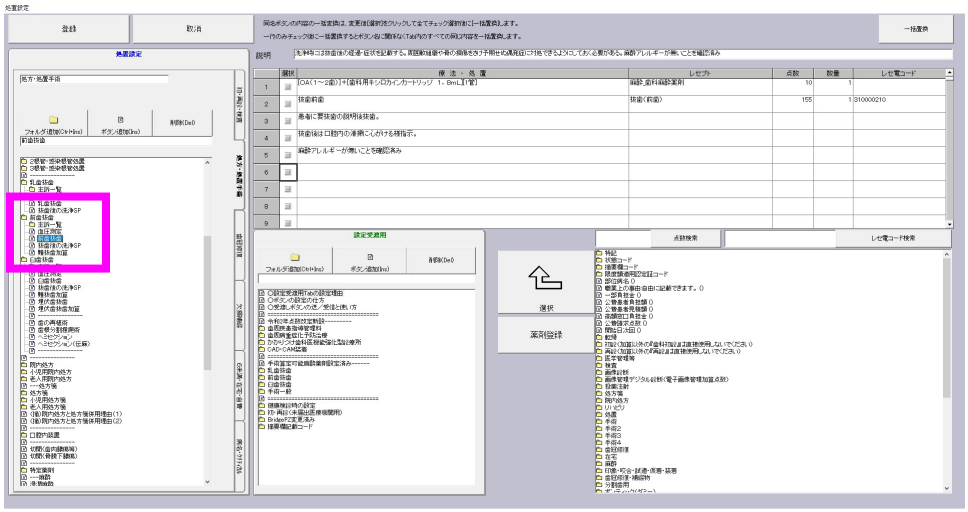
この状態で「Ctrl」+「C」の操作をして下さい。内容がコピーされます。

特に変化はありませんが、コピー完了です。

次にコピーした内容を貼り付けたいボタンを選択してください。

ここでは「前歯抜歯」を選択します。





前歯抜歯の内容です。

	選択	療法・処置
1		[OA(1～2歯)]+[歯科用キシロカインカートリッジ 1．8mL][1管]
2		抜歯前歯
3		患者に要抜歯の説明後抜歯。
4		抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。

1 行目の麻酔を変更するために、前歯抜歯の 1 行目行番号の部分を左クリックします。

左クリックすると黒く反転します。

	選択	療法・処置
1		[OA(1～2歯)]+[歯科用キシロカインカートリッジ 1．8mL][1管]
2		抜歯前歯
3		患者に要抜歯の説明後抜歯。
4		抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。

この状態で「Ctrl」+「V」の操作をして下さい。先ほど臼歯抜歯でコピー(「Ctrl」+「C」)した内容が貼り付けられます。

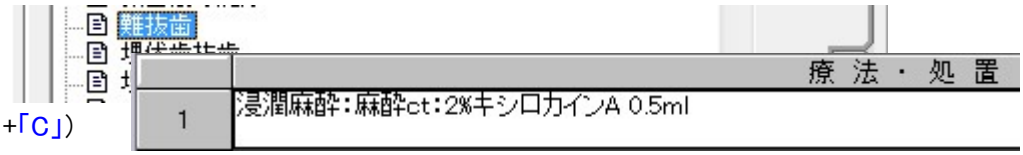
	選択	療法・処置
1		[OA(1～2歯)]+[オーラ注歯科用カートリッジ1．8mL][1管]
2		抜歯前歯
3		患者に要抜歯の説明後抜歯。
4		抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。

以上が一度変更したボタンの内容の一部を利用し、次のボタンを変更する方法の説明でした。

なお、「Ctrl」+「V」で貼り付けた後、さらにコピー(「Ctrl」+「C」)をし、次のボタン内容を変更していけば、さらに効率よく変更することが可能です。

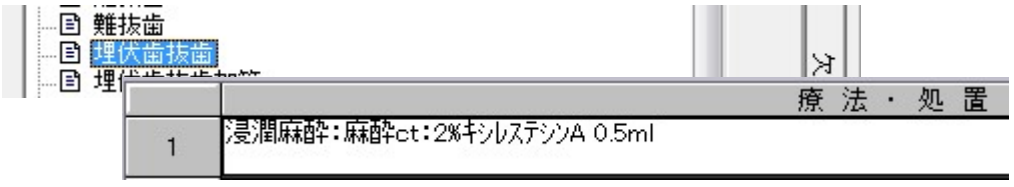
例:「臼歯抜歯」から「前歯抜歯」に貼り付け(「Ctrl」+「V」)麻酔をコピー(「Ctrl」+「C」)し、「埋伏歯抜歯」の麻酔に貼り付けていく。

選択



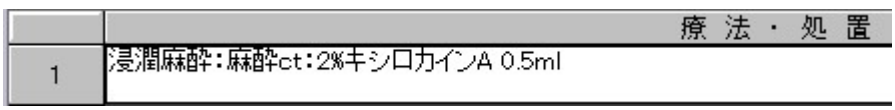
コピー(「Ctrl」+「C」)

選択



選択

貼り付け(「Ctrl」+「V」)



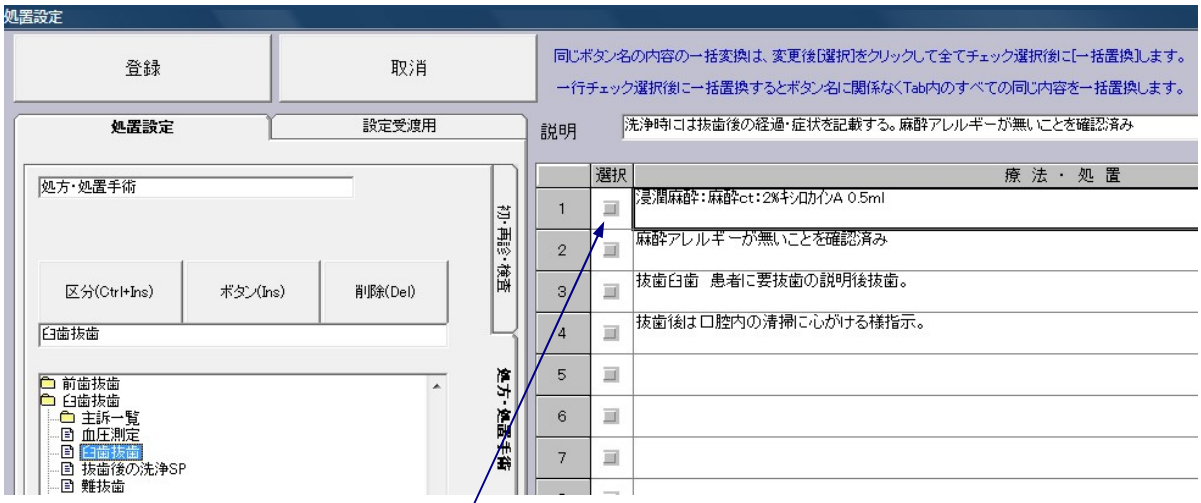
――――――　「一括置換」を利用した処置設定の仕方　――――――

接着材料や麻酔など一括で同じスタンプ内容を変更するにはこの方法が便利です。

※一括置換は一度に変更されるため注意が必要です。必ずﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ後に行ってください。※

ここで説明する操作方法は、選択した行の内容をすべて、該当内容に変更する方法です。

例：変更した「療法・処置」と同じ内容の「療法・処置」がすべて変更されます。

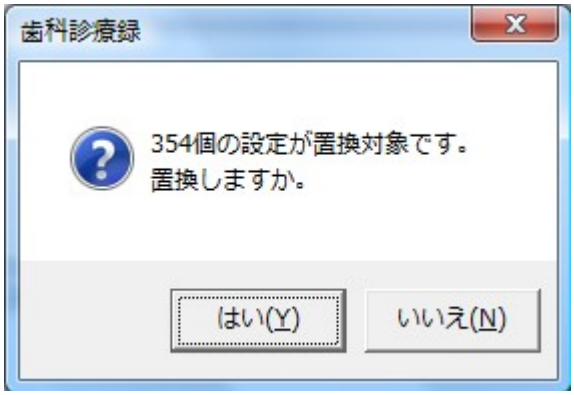


変更した内容でよろしければチェックボックスにチェックを入れてください。

	選択	療法・処置
1	☑	浸潤麻酔:麻酔ct:2%ｷｼﾛｶｲﾝA 0.5ml
2	☐	麻酔アレルギーが無いことを確認済み
3	☐	抜歯臼歯　患者に要抜歯の説明後抜歯。
4	☐	抜歯後は口腔内の清掃に心がける様指示。

チェックが入った状態で右上部の 

をクリックします。



←このようなメッセージが現れます。
この場合、対象ボタンが 354 個あり
それを置換しようとしている。ということです。

同じ名前のボタン内容を一括で変更する方法です。



例：「麻酔抜髄単根管」のボタン内容

すべてのチェックボックスにチェックを入れます、

画面にはすべてに赤いチェックが入っている状態です。画面右上の「一括置換」を押すと

置換する数を表示します。

置換を実行すると、様々な箇所にある「麻酔抜髄単根管」の内容が一括で変更内容に変わります。

――― 処置ボタンの交換 ―――

お知り合いなどで「歯科診療録＝大樹」をご使用の先生がいらっしゃいましたら、
お互いで作成した処置ボタンを交換して相互協力が出来ます。

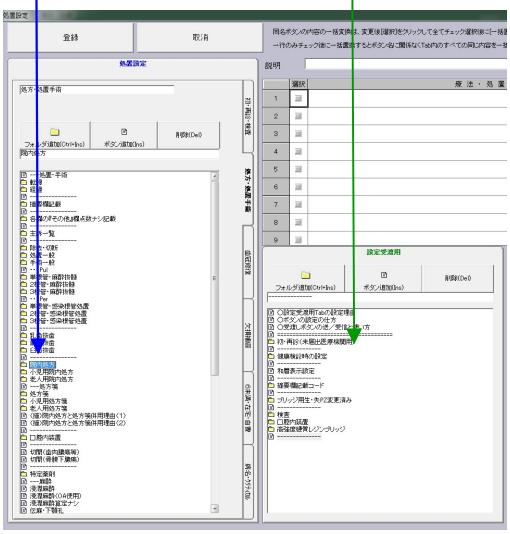
※　操作は「処置設定」画面で行います。

例：「院内処方」を区分ごと A 先生→B 先生へ受渡します。
（例ですので区分ごと受渡していますがボタン 1 つから受渡出来ます。）

まず、A 先生は B 先生へ送るためにご自分の「院内処方」を設定受渡用に
コピー貼り付けします。

処置設定にある「院内処方」を選択し右クリック「コピー」します。

設定受渡用で右クリック「貼り付け」してください。



※「院内処方」をマウスアンドドラックで
「処置設定」⇔「設定受渡用」へ移動しても、
コピー/貼り付けすることができます。

「設定受渡用」に作成したものは、「Dental43Btn.mdb」に保存されます。
「Dental43Btn.mdb」はローカルディスク（C）の「Dental4」にあります。

※　院内 LAN ユーザーの設定はクライアントでも出来ますが、データはサーバ内にありますので、
サーバー内の「Dental43Btn.mdb」をご利用ください。

A 先生はこの「Dental43Btn.mdb」をメールや CD、USB メモリーなどで B 先生に送ってください。
B 先生は A 先生から送られてきた「Dental43Btn.mdb」を、
「歯科診療録＝大樹」パソコンのローカルディスク（C）の「Dental4」内に移行してください。
移行しますと、「処置設定」画面で「設定受渡用」の中に A 先生が作成した「院内処方」が
ありますので、それをコピーします。
コピーした「院内処方」を「処置設定」の任意の場所に貼り付けてください。

※　設定受渡用ご使用の注意

A 先生 B 先生共にボタン内容などは十分ご検討された後、設定受渡用をご利用ください。

※　設定受渡用は点数改定などで新設された処置などをユーザーの皆様にお送りする際にも
活用されます。